

2016年10月3日

札幌チャレラジオ通信 第38回

栄田：三角山放送をお聴きの皆さん、こんにちは。札幌チャレラジオ通信です。私はパーソナリティーのNPO法人札幌チャレンジドの栄田です。よろしくお願いします。札幌チャレラジオ通信は、自立を目指す障害のある人が、『ITでマザル、ハタラク、拓き合う。』社会を創りたいとの思いで活動しているNPO法人札幌チャレンジドが、毎週月曜日のこの時間に札幌チャレンジドの活動内容をお伝えする番組です。2016年1年間放送しています。今週は、栄田と大山が担当します。大山さん、よろしくお願いします。

大山：よろしくお願いします。

栄田：もう、どんどんどん秋になってきまして寒くなってきましたね。

大山：そうですね、今日は少し寒いですね。雨も降ってきていますしね。

栄田：だんだんとまた台風も近づいてくるということなので、ちょっと天候に気をつけていきたいですね。はい、ありがとうございます。早速ですが、今日のゲストをご紹介します。今日のゲストは、株式会社東急百貨店札幌店庶務部庶務人事コンプライアンスの山川沙知子さんです。山川さん、よろしくお願いします。

山川：よろしくお願いいたします。皆さまこんにちは、東急百貨店札幌店の人事で、採用担当をしている山川と申します。本日はよろしくお願いいたします。

栄田：よろしくお願いいたします。

大山：よろしくお願いいたします。

栄田：ではですね、これから山川さんにいくつかご質問をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

山川：よろしくお願いします。

栄田：では、山川さん自己紹介をお願いいたします。

山川：私は先ほど申し上げましたが東急百貨店札幌店の人事で採用担当しております、主に東急雇用の人材ですね。新卒、大卒の採用から契約社員の方々、アルバイトさんでしたり、皆さんの採用を主に担当しているものです。

栄田：はい、ありがとうございます。株式会社東急百貨店札幌店さんは、昭和48年の10月2日ですね。ちょうど今年で開店して43周年ということなんですけど、その開店されて以来今日（こんにち）まで、札幌市民をはじめとしまして、観光客ですとか多くの方々に利用されておりますが、ここまで長く愛され続けているのにもきっと理由があると思うんですよね。その東急百貨店さんが大切にされていること、例えば理念ですとかビジョンなどあればぜひ教えていただけますか。

山川：当社の企業理念のスローガンは、「hug everyone」といまして、私たちはこのhugという言葉に存在の近さを表現しております。例えばお客様からの「東急さんだったら何とかしてくれるんじゃないかなとか。東急さんだからお願いしたい」といったご要望でしたりですとか、ご期待に一番お客様の近くでお答えできるように、日々全従業員が一つ一つの行動、それはお客様のためなのかなということを考えて行動するようにしております。またこの「hug everyone」の「everyone」というのは、お客様はもちろんなんですけれども、お客様だけではなく一緒に働くスタッフですね、仲間だったり取引をしてくださるお取引先様でしたり、あと社会との「Hug」をとっても大切にしていまして。こういった仲間と新しいことにどんどんチャレンジをして互いを尊敬し、高め合える存在となって、一丸となって、皆にとってお客様にとって、なくてはならない存在であることを追求している会社になります。

栄田：はい、ありがとうございます。「hug everyone」いいですね。何か社員の方が一丸となると、やっぱりそれってお客様に伝わると思うんですよね。その優しさであったりですとか、その積極性であったりで、お客様のことをやっぱり常に考えていらっしゃるっていうところが長く愛され続けている秘訣なのかなとも思いますね。ありがとうございます。よく私も東急百貨店さん、ちょこちょこ利用させていただいてまして、その時に東急さんだったらこういう物絶対あるかなと思っていろいろ行かせていただいているんですよね。そこでもやっぱり包装をこういうふうにしてほしいですとか、結構わがままでも何でもお伝えしても、いつも笑顔で「大丈夫ですよ」と言って快く引き受けてくださるので本当に助かっていますし、これからもちょっと利用させていただきたいなっていうつもっています。

山川：ありがとうございます。そうですね、お客様もいろいろ言ってくださって、何とか私たちとしてもいろんなご要望にお応えできないかなと思って一人一人考えて行動してます

ので、いろいろご要望があればお伝えいただければと思います。

栄田：ではですね、続きまして東急百貨店さんは障害のある方も積極的に雇用されていることをお聞きしまして、いつごろから障害者雇用を始めたのでしょうか。

山川：実はですね、私、採用担当になってから 1 年半しか経っていないので、以前の担当の者に確認をしたんですけれども、障害のある方の雇用自体は設立当時から行っていたものなので、もう数十年も前から行っています。ただですね、障害のある方といっても一般公募で募集していたようで、こうノウハウのない中採用しており、なかなか一度雇用はしても定着して長く勤めていただくことが難しい状況だったようです。ですがですね、ここ数年は札幌チャレンジドさんにもご協力いただきまして、採用前からやっぱり採用後も一人一人しっかりとした就労支援を行っていただき、長く働いていただける方が増えてきたなというのを実感しております。引き続き連携を取って障害者雇用に取り組んでいきたいと思っておりますので、そちらもよろしく願いいたします。

栄田：ありがとうございます。そうですね、札幌チャレンジドからも後ほど後半でもちょっとお話をさせていただこうと思っていたんですけども、札幌チャレンジドの就労移行支援からも就職して東急さんで働かせていただいています。本当にとってもありがたいです。やっぱり私たち支援側としましても、企業さんの中に入れていただいて、いろいろとこちらからこういうふうにしていただいたら、その方が安心して働けますとかということをお伝えしたら、すぐに対応してくださるんですね。なのでそういうところがわたしたちも非常に助かっていますし、これからも長くお付き合いさせていただければと思います。

山川：こちらとしてもまだベストの状態ではないと思っておりますので、どんどんそちらも意見をいってくださっていい環境をつくっていただければいいなと思っております。

栄田：はい、ありがとうございます。ええと、障害者雇用は設立当時からということだったんですが、初めて障害のある方を雇用した場合に戸惑ったことなどはいかがでしたか。

山川：これもですね、私の話になるんですけども。やはり一人一人に対してどのような業務をやっていただくのがベストなのかということを考えて配属だったり、業務内容を決めているつもりではあるんですけども、いざやってみるとそれがご本人のご意向と合わなかったりですね。思うようにできるかなと思っても、難しそうにしていたりっていうような場面を見る。やはり面接でしたり、一番初めの体験業務だけで全てを決めつけてしまうっていうのはよくないなっていうふうに思っていて。まだまだ分からないことはたくさんある

なっているふうに感じていました。それで、もっとコミュニケーションを一人一人と取って
いって、業務内容も柔軟に考えてこれからもやりがいを感じていただけるような職場環境
を一緒につくっていききたいというふうに思っております。

栄田：はい、ありがとうございます。そうですね私たちも支援していく中で、その方々の得
意なことですか、苦手なことってその人その人で違ってくるので、やっぱり私たちもそこ
をどう支援をしていこうかなってというのは、関わっていく中でしかなかかなか分かるって
いうか知ることなかなかできないので、結構私たちもどうしようかなって考えたりって
いうところはあるんですけど。そういうところで、そういうメンバーさんのことを知ってそれ
を企業の方にお伝えをしていけたらと思っております。そういうところでしっかりと東急
百貨店さんそこを察してくださって本当にいろいろと考えてその方に合った職種ですとか
も洗い出してくださっているんで、本当に助かっております。

山川：なかなかやっぱり採用担当の方には言い難いみたいなことが皆さんあるかと思うの
で、そこはちょっと面談などでフォローしていただいて、実際こういうこと思ってますよっ
てというような意見が大変ためになっておりますので、引き続きよろしくお願ひします。

栄田：ありがとうございます。はいではですね、ここで山川さんのリクエスト曲を早速かけ
させていただきたいと思ひまして、山川さんのリクエスト曲はどなたの何の曲でしょ
うか。

山川：SMAPの『shake』という曲です。

栄田：はい、こちらを選んだのは。

山川：はい、昔からすごい大ファンっていうわけではなかったんですけども、友達で大フ
アンの子がいて以前一度誘われてコンサートと一緒にいったことがあるんですけども、
それまでテレビで見えてSMAPのコンサートだったら行ってみようかなぐらいな気
持でいたんですけども、生のSMAPの音楽がものすごく本当に感動したというか、
圧倒したというか。ああ、これが日本一のアイドルかと驚きまして、まあちょっと残念ながら
今回解散が決まってしまって悲しいんですけども、コンサートで一番盛り上がった思
ひ出の曲なのでリクエストいたしました。

栄田：ありがとうございます。本当にSMAPさん一人一人が生でお会いしたことないん
ですけど、すごいオーラといいますかありますよね。

山川：生で1度でも見れて幸せでした。

栄田：ありがとうございます。では、早速山川さんのリクエスト曲をかけさせていただきますと思います。SMAPのshakeです。

栄田：3時からお送りしている札幌チャレンジ通信、今日のゲストは株式会社東急百貨店札幌店庶務部庶務人事コンプライアンスの山川沙知子さんです。後半は大山さんから山川さんに質問などをお願いいたします。

大山：はいでは、山川さん引き続きよろしくをお願いいたします。札幌チャレンジの就労移行支援サービスを利用していた方が、東急百貨店に3名就職をさせていただいています。面談などに行きますと、皆さんやりがいがあって生き生きと仕事をしているということがよく分かるんですね。やはりそういうふうに安心してとてもやりがいを持って働いているというのは、東急さんのいろんなことを配慮していただけてるからじゃないかなと私たちが強く感じているんですけれども。障害のある方を雇用する上で、大切にされていることとか、あと配慮していることとかありましたら、ぜひ教えていただけますでしょうか。

山川：先ほどの話からつながるんですけれども、まずは一人一人の気質でしたり能力っていうのは違うと思いますので、個々に応じた配属や指導方法などを採用担当が勝手に決めてしまうのではなくて、しっかり現場と話し合いながら決めるようにしております。で先ほども申しあげましたが更に長く仕事を続けていただくことが重要になってくると思いますので、一緒に働く周りのスタッフとのチームワークを深めていただいたり、職場の雰囲気もよくしていくために店内で顔を合わせた際は積極的に会話をするようにしたりして、どのような状況で働いているかっていうのを把握するようにしております。

大山：ありがとうございます。すごい会社全体で見てくださっているというか、やはりどこか一つでも欠けてもだめだと思えますよね。今おっしゃっていただいた採用の方、現場の方そして現場の中でも一緒に関わってくださるすごく近くにいるスタッフの方もよく分かってくださっていてというのが、そこが連携取れていて、一緒に同じ社員としてっていうような形で思っただけしているってことですね。そこがすごくうまく皆さんが生き生きと働いている一番の部分なのかなとお話をうかがって思いました。はい、ありがとうございます。本当に皆さん責任のある仕事を任せていただいて、生き生きと働いていて、皆さんそれぞれの本当に先ほどおっしゃっていただいたお一人お一人の気質というか長所を生かした仕

事をしっかりと任せてくださっているという感じがするんですね。

山川：そうですね、想像以上に能力が高かったりしますので、そういったいいところはどんどん発揮していただいて、働いていただけるとやりがいも感じていただけるかと思っておりますので、そういったところを見つける意味でも各部署と連携を取って進めていきたいなと思っております。

大山：ありがとうございます、はい本当に嬉しいです。今後もよろしくお願いします。あとですね、東急さん、百貨店さんですのでいろいろイベントがあるかと思うんですけども、もしよろしければイベントの告知などお願いできたらと思うんですけども。

山川：ありがとうございます。今日ラジオなのにすみません、チラシを持ち込みさせていただいたんですけども。はい、今週やってるイベントと来週のイベントのご紹介をさせていただきたいと思っております。まずですね、現在9月5日まで当店の9階の催し物会場で第1回九州沖縄展っていうのを開催しております。まあいわゆる物産展ですね、地元のこだわりの美味や工芸品を一堂に取り揃えております。明日ですねちょうど10月4日火曜日にはあのくまもんが、チラシにも載ってますが、くまもんが登場しますので、ぜひくまもん好きな方は会いに来ていただけたらなと思っております。ちなみに時間が11時と午後2時からなので、お間違いないようにお願いします。

あと裏面は先ほどもご紹介していただきましたが、札幌東急百貨店10月5日で開店43年を迎えますので、現在全館で開店記念祭っていうのをやっております。109お楽しみ連打、まあ109のお楽しみ連打っていうのが、まあ109なので東急の略なんですけれども。109のイベントをご用意してお客様をお待ちしておりますっていうことでやっております。まあ東急ハンズさんのイベントでしたり、あと各階でさまざまなイベントを行っておりますので、楽しいイベント目白押しですのでこちらも。

大山：イーパックということで、各階で何かパック詰めしたお得なセットが何か販売されているんですね。

山川：：ああそうですね、何か気になる物もありますかね。

大山：バックよりどり2点。

栄田：いいですね。

大山：5400円とか書いてますね、お買い得ですね。

山川：はい面白いかと思います。こちらのイベントが10月5日までとなっていて、もう一つの方が10月6日からのイベントですね。東急百貨店恒例企画になりまして、こちらの催し物会場で理由（わけ）ありバザールっていうのをやっております。ちょっともしご存じのない方のご説明しますと、理由（わけ）ありっていうのがちょっと難ありと
いいですかサイズが不揃いだったり、ちょっと一型ずれた旧のデザインの物でしたり、あとは箱がない物でしたり、ちょっと一般の売り場には出せないですよっていうような商品を集めた企画になりまして、かなりお得なお値段でご提供しておりますので、結構こちらも人気の催事となります。

目玉としましては、前回やりまして第2回目になるんですけども、同じく9階の催し物会場で食料品のもったいないお買い得セールっていうのをやるんですね。これも例えば賞味期限が近かったり、例えば1か月2か月ぐらいの物でしたり、ギフト、お中元のギフトとかお歳暮のギフトありますけれども、その処分品の物解体しましてこちらもびっくりするほどお安いお値段で出しておりますので。

大山：時々利用させていただいております。ギフトのばらしたのが、結構お得ですよ。

山川：いつも人気の催事になりますので、こちらもぜひご覧いただければなと思います。はい、ありがとうございます。

栄田：ギフトって贈るぐらいしかなくて、やっぱり自分自身でも何かいいな食べたいなとか思うんですけど、そうなるとうような食品もったいないお買い得セールになった時に結構自分の分買おうかなって。

大山：そうですね。

山川：普通のお値段では手が出せそうにない物も、気軽に試せますので、ぜひよろしく願いします。

大山：ちなみにくまもんは明日1階の南口に登場ということですか。

山川：そうですね、場所、はい。

大山：11時と午後2時ですね。

山川：各会で30分ですね。私もちょっと見に行きたいんですけどね。

大山：工作中なんですけど。

栄田：会いたいですね、くまもんに。

大山：行きますか。

山川：一度見てみたいですよ。

大山：そうですね、やはり実物に会わないとなかなかこうね。

山川：自慢できますよね。

栄田：くまもんに会ったぞっていう。

大山：九州と沖縄の何か美味しそうなお菓子とかも載ってますので、ぜひちょっと利用させていただきたいと思いますね。

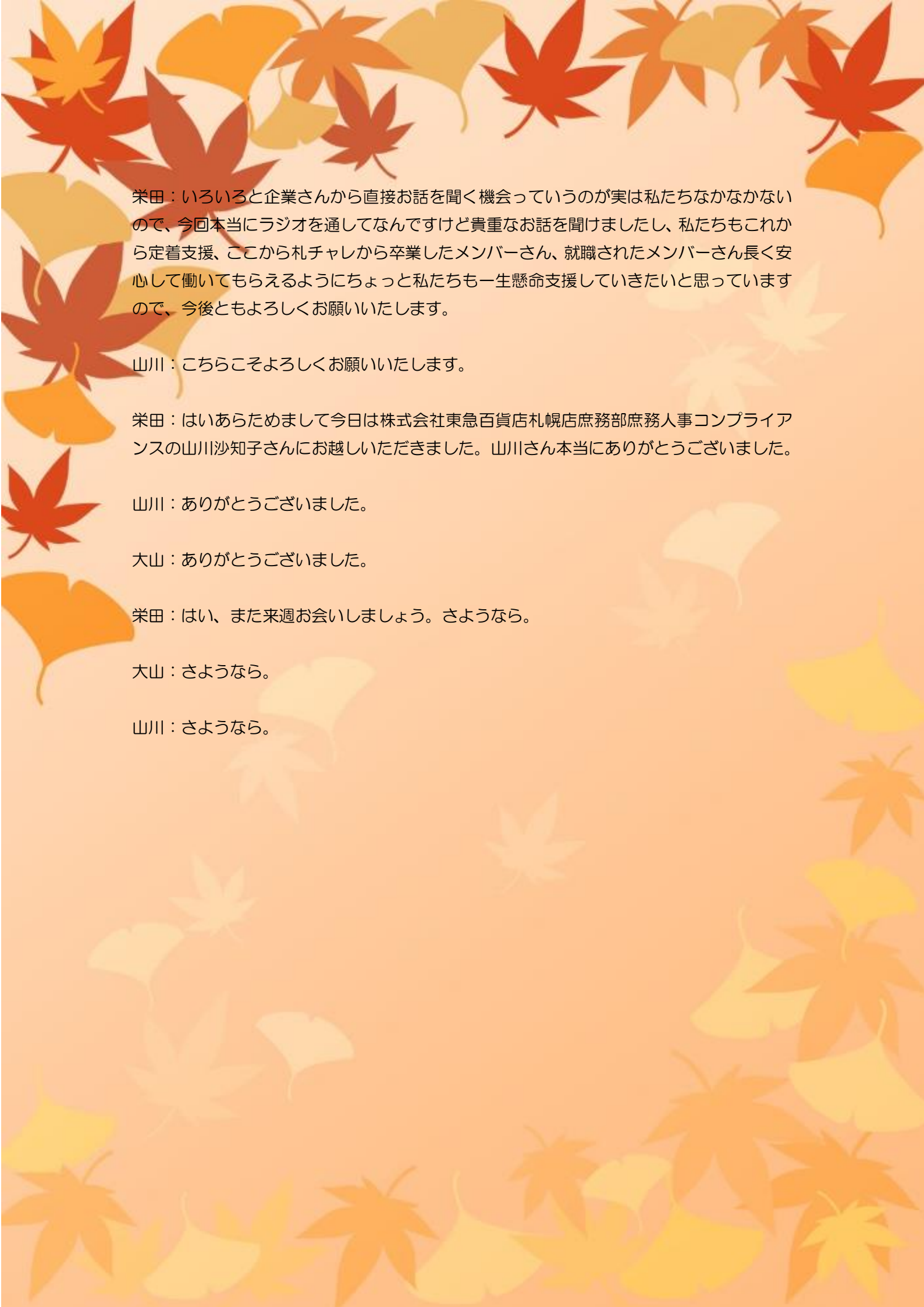
栄田：私も仕事帰りに行こうかなと思います。

山川：はい、ぜひ。

大山：ありがとうございます。

栄田：では、そろそろ徐々に閉めのお時間になってきたんですけど、この番組を聴いて札幌チャレンジドを見学したい方ですとか、ご質問のある方がもしいらっしゃいましたらご連絡をいただきたいと思います。NPO 法人札幌チャレンジドの電話番号は、011-769-0843番、769-0843番。営業時間は、月曜日から金曜日までの午前9時半から午後5時半まで営業しています。住所は、札幌市北区北7条西6丁目1北苑ビル2階です。気軽にお問い合わせいただければと思います。今日は札幌チャレンジド就労移行支援からも就職者が出ています東急百貨店札幌店の山川さんにゲストとしてお越しいただきました。本当にお忙しい中お越しいただいてありがとうございました。

山川：こちらこそありがとうございました。



栄田：いろいろと企業さんから直接お話を聞く機会っていうのが実は私たちなかなかないので、今回本当にラジオを通してなんですけど貴重なお話を聞けましたし、私たちもこれから定着支援、ここから札チャレから卒業したメンバーさん、就職されたメンバーさん長く安心して働いてもらえるようにちょっと私たちも一生懸命支援していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいいたします。

山川：こちらこそよろしくお願いいいたします。

栄田：はいあらためまして今日は株式会社東急百貨店札幌店庶務部庶務人事コンプライアンスの山川沙知子さんにお越しいただきました。山川さん本当にありがとうございました。

山川：ありがとうございました。

大山：ありがとうございました。

栄田：はい、また来週お会いしましょう。さようなら。

大山：さようなら。

山川：さようなら。